

平成25年度農作物共済（水稲）支払実績

～ 支払共済金4,369万円 ～



平成25年産農作物共済（水稲）の損害評価高がまとまり、12月12日までに対象農家453戸に共済金4,369万55円が支払われた。

県全体の生育状況は、6月は中旬の気温が高かったため、7月1日現在の草丈・茎数とも平年を上回った。葉齢からみた生育は平年より2日程度早かった。7月上旬は高温傾向で推移し、7月16日現在の草丈、葉数は平年を上回り、㎡当たり茎数は下回った。7月19、20日は県南地域を中心に最低気温が13℃を下回る低温となり、ほ場によっては白ふの発生が見られた。

県全体の出穂最盛期は平年より2日早い8月6日で、出穂始め～終わりまでの日数は13日で3日長かった。出穂後5日間及び10日間の最高気温の平均値は、各地点で25℃を上回り、開花・受粉は順調だった。

成熟期は、早い地点で9月6日、最も遅い地点で9月25日であった。稈長及び穂長はほぼ平年並、㎡当たり穂数は平年より下回った。

被害状況は、被害面積割合で見ると、風水害が約80%を占めている。また、病害が約15%となった。その他、雨害湿潤害が約2.3%、冷害が約0.9%、干害が1.3%となった。

《主な災害と被害状況》

風水害

台風18号接近に伴う暴風雨により、河川等の氾濫のため土砂の流入による埋没と冠水による被害が発生した。

病害

いもち病の発生が見られた。

雨害湿潤害

局地的な豪雨による倒伏や、河川が氾濫し土砂の流入や冠水被害が発生した。

冷害

県南地域において、7月中旬の低温の影響により軽微ではあるが、白ふや不稔が発生した。

干害

津軽の一部地域で、6月の降雨が少なかったことにより発生した。

組合名	引受方式	共済金支払対象				被害率	
		戸数(戸)	被害面積(a)	共済減収量(kg)	共済金(円)	面積(%)	金額(%)
津軽広域	一筆	6	360.0	3,118	428,564	0.1	0.03
	半相殺	51	6,935.2	42,008	6,476,242	0.3	0.04
	計	57	7,295.2	45,126	6,904,806	0.3	0.04
ひろさき広域	一筆	17	1,759.1	14,630	2,383,649	1.2	0.31
	半相殺	173	14,030.4	87,595	15,791,875	1.7	0.23
	全相殺	0	0.0	0	0	0.0	0.00
	計	190	15,789.5	102,225	18,175,524	1.6	0.23
南部地域	一筆	38	2,030.0	34,108	6,173,548	0.6	0.33
	半相殺	158	10,092.7	70,934	12,073,634	0.9	0.14
	全相殺	10	722.0	2,003	362,543	9.7	0.52
	計	206	12,844.7	107,045	18,609,725	0.9	0.18
合計	一筆	61	4,149.1	51,856	8,985,761	0.6	0.23
	半相殺	382	31,058.3	200,537	34,341,751	0.7	0.10
	全相殺	10	722.0	2,003	362,543	3.0	0.22
	計	453	35,929.4	254,396	43,690,055	0.7	0.12